

# 緑陰通信

News from the shade of trees

目次	
◆記憶のたからばこ～世代をつなぐこどもの本～	P1
◆ホームページをリニューアルしました	P2
◆子ども映画会を開催しました	P2
◆ひなた電子図書館の電子書籍サービス年間ランキング	P3
◆歌人 大口玲子さんの短歌講座	P4
◆文化講座(3回)と企画・特別展の開催予定について	P4
◆宮崎県立図書館 第4期アクションプラン	P5
◆宮崎県立図書館長より	P5
◆宮崎県立図書館からのお知らせ	P6

※緑陰通信は県立図書館のホームページ(<https://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>)からもご覧いただけます。

## 開催 レポート

### 記憶のたからばこ ～世代をつなぐこどもの本～

期間:令和8年4月21日(火)～5月10日(日)

「こどもの読書週間」(4月23日から5月12日まで)は、社団法人読書推進運動協議会により昭和34年に第1回が実施されて以来、今回で68回目を迎えました。期間中は公共図書館や出版社、書店など、全国各地で子ども達に読書の楽しさや喜びを伝える様々な催しが行われました。

宮崎県立図書館でも4月21日から5月10日まで「記憶のたからばこ～世代をつなぐこどもの本～」というテーマで企画展示を行いました。こどもの本は、描かれるテーマや表現が時代の流れとともに大きく変わってきています。一方で、その普遍的な魅力から、時代に関係なく長く読み継がれている本もあります。今回の企画展では、絵本が単行本として出版され始め、大人も子どもも楽しめるようになった絵本の黄金期といわれる1960年代から現在までに出版された児童書の中から、当時話題になった本や図書館職員お薦めの本などを展示しました。展示された本を懐かしそうに読まれている方が多くいらっしゃいました。

参加型展示「きおくのたからばこ」では、自分の好きな本や思い出の本のタイトルとイラストなどを自由に書いていただきました。みなさまの懐かしい思い出が詰まった本棚が完成しました。また、利用者投票コーナーでは、期間中に展示した本の中から、みなさまがお好きな本や思い出に残っている本を投票していただきました。

今回の企画展示に関して、来館していただいたみなさまよりたくさんのご感想をいただいておりますので、一部ご紹介します。

- ・私が小学生の時に読んだ本を、こどもが小学生になり同じ本を読んでいること…とても素敵なことだなと思った。
- ・年代別の児童書が展示してあり、その時代で背景を知ることができ興味深かった。
- ・気になっていた絵本があっても、図書館に行くことを忘れてしまうことがあり、展示で思い出して借りることができた。
- ・子供の頃に読んだことのある本が多数ありなつかしく感じた。

県立図書館では、今後も県民のみなさまに本の魅力をお伝えしていくよう努めていきます。



### 投票結果



第1位	りんごかもしれない
第2位	しろくまのパンツ
第3位	クジラがしんだら



# ホームページをリニューアルしました！

## トップページが見やすく

令和8年3月の図書館システム更新に伴い、ホームページをリニューアルしました。

トップページは、各ページへの入口をアイコン化し、目的の情報にたどり着ける、シンプルで親しみやすい画面デザインに刷新しました。また、スマートフォンやタブレットなど、お手持ちの端末に合わせてレイアウトや表示を変更できるレスポンスデザインに対応したことで、従来よりも見やすい表示になりました。



## 新しいサービスをご紹介します！

### ○おうちで利用者登録ができるようになりました

システム更新により、ご来館いただかなくても利用者登録の手続きができるようになりました。

まず、当館ホームページ「オンライン利用者登録」から利用者情報を仮登録してください。その後、届いたメールの案内に従い、本人確認書類（マイナンバーカード、運転免許証、各種健康保険証等）の画像をアップロードしてください。なお、県外在住で県内に通勤・通学されている方は、社員証または学生証も必要です。申請内容と書類の確認が完了次第、15日以内にご登録いただいたメールに貸出利用券番号を送付いたします。申請状況によりお時間を要する場合や、不備等でご連絡を差し上げることもございますのでご了承ください。手続きの詳細につきましては、当館ホームページまたは右上の二次元コードをご確認ください。



### ○県立図書館ネットでお取り寄せサービスが始まりました

ご自宅から県立図書館の資料を予約し、お住まいの市町村立図書館・図書室で受け取ることができるサービスを新たに開始しました。（6月9日現在 14館・室）

当館ホームページから予約する際、利用可能な館の中から、お住まいの市町村立図書館・図書室を「受取館」として指定してください。資料の準備が整い次第メールでお知らせしますので、受取可能期間内に指定の館へお越しください。資料の返却は、受け取った館にて行ってください。

※本サービスは市町村により実施状況が異なります。サービス実施館や利用方法等の詳細は、当館ホームページにてご確認ください。



## 子ども映写会を開催しました



県立図書館では、こどもたちの夢を育て、情操教育を支援するための映写会「子ども映写会」を実施しています。今年度は、5月23日（土）に「だいじょうぶだいじょうぶ」と「へびくんのおさんぽ」の2作品を上映しました。生きていくためのしなやかな強さを感じられる優しくあたたかい作品です。映写会当日は、21名の参加があり、親子で楽しそうに映画を鑑賞する姿が見られました。映画鑑賞後は児童室に同作家の絵本を借りに行く姿もあり、映写会が本へのつながりのきっかけとなったようでした。

県立図書館では、「子ども映写会」のほかにも、「図書館シアター」や「緑陰コンサート」など様々な視聴覚事業を計画しています。いずれも入場無料ですので、ぜひお気軽にご参加ください。

## ひなた電子図書館の電子書籍サービス (KinoDen・LibrariE) 年間ランキング

ひなた電子図書館の電子書籍サービスには、調査研究に役立つ専門書や辞書、一般教養の本が充実している閲覧型の KinoDen と、実用書、学術書、文芸、エンタテインメント、児童書など幅広い分野を網羅した貸出型の LibrariE があります。当館の貸出利用券をお持ちであれば、スマートフォンやタブレット端末、パソコンでいつでもどこでも電子書籍を読むことができます。なお、貸出利用券登録は、オンラインで行うことができますので、ご家庭にいながら様々な本を読むことができる便利なサービスです。そのため、令和6年のサービス開始以降、多くの方にご利用いただいています。

今回は、令和7年度に電子書籍サービスで閲覧回数の多かった本と、司書おすすめの本をご紹介します。

KinoDen では、宮崎の観光ガイド本や生成 AI に関する本、イラスト・美術の解説本のほかに、様々な分野のビジネスに関する本や過去の宮崎の風景写真集等の本が人気でした。

一方 LibrariE では、小学生に人気の角川まんが超科学シリーズや、動画で見られる昆虫図鑑のシリーズが上位にランクインしています。また、様々な絵本やスマホの使い方や身の回りの物事について学べる小学生向けの本が人気でした。

ほかにも、KinoDen には様々な事典・図鑑や、各分野の教養を深められるような本、LibrariE には小説・物語やスポーツ・音楽等の入門書などがあります。

あなたの読みたい本がないか、ぜひ一度探してみてください。



### 令和7年度ひなた電子図書館 (KinoDen) 閲覧回数ランキング

順位	書籍名	著者	出版社	閲覧回数
1	まっぷる 宮崎 '26		昭文社	220
2	おとな六法	岡野武志、アトム法律事務所	クロスメディア・パブリッシング	129
3	スマホ時代の哲学	谷川嘉浩	ディスカヴァー・トゥエンティワン	118
4	るるぶ宮崎 高千穂 '25	JTB パブリッシング	JTB パブリッシング	114
5	子どもだけでつくれる 焼かないお菓子	原 亜樹子	東京書籍	106

### 令和7年度ひなた電子図書館 (LibrariE) 閲覧回数ランキング

順位	書籍名	著者	出版社	閲覧回数
1	どっちが強い!? X 12 恐竜キッドをたおせ! (角川まんが超科学シリーズ)	エアーチーム	KADOKAWA	8779
2	どっちが強い!? X 6 人食いの森でサバイバル (角川まんが超科学シリーズ)	エアーチーム	KADOKAWA	7467
3	どっちが強い!? X 11 恐竜軍団を止める! (角川まんが超科学シリーズ)	エアーチーム	KADOKAWA	6198
4	ビデオ昆虫図鑑 10 カブトムシの一生		アスク出版	6180
5	うみのおばけずかん (どうわがいっぱい)	斉藤洋	講談社	5715



### ～司書おすすめの電子書籍～



◆ タイトル：しゃにむに写真家

著者：吉田亮人著

内容：今注目を集めている宮崎出身の写真家・吉田亮人さんが、小学校の教員から写真家に転身してからの10年間を語った自著伝です。「働くとは何か」について考えさせられます。(右の二次元コードから、本の内容を確認できます。)



◆ タイトル：ふるさとの思い出写真集 明治大正昭和 宮崎

著者：野口逸三郎・富永喜久編

内容：明治・大正・昭和の貴重な宮崎の写真が満載です。実家に帰ったときに見せると懐かしがられるのではないのでしょうか。同シリーズの都城・延岡・小林・日向・串間のものもありますのでご一緒にどうぞ。

◆ タイトル：ワンダー JAPON11 特集大分・宮崎「時空の歪みに誘われて」

著者：ワンダー JAPON 編集部著

内容：大分と宮崎の実際にある不思議な物件や建造物を豊富な写真とともに紹介しています。身近な「異世界」を楽しむうちに、実際に現地で見たいと思うこと請け合いです。

令和8年1月18日、歌人の大口玲子氏と、聞き手としてNHKアナウンサーの梶原典明氏をお迎えし、短歌講座を開催しました。当日は49名の方々にご参加いただき、会場は終始温かな雰囲気にもまれ、短歌の魅力に触れる充実した時間となりました。

前半は、大口氏による講義が行われ、短歌のイロハや詠み方のポイントなどについて分かりやすく解説していただきました。「短歌は感想を詠まない」「好きな短歌を暗記するほど詠み込む」といったアドバイスが贈られ、参加者は熱心に耳を傾けていました。また、進行を務めた梶原氏の心地よい語り口や短歌クイズも大好評でした。

後半の「短歌づくり体験」では、参加者全員で短歌づくりに挑戦しました。短歌を作成した後は、大口氏が参加者一人ひとりの歌を丁寧に読み上げ、温かい講評をしてくださいました。

「今日から短歌づくりをはじめます」といった前向きな声が多く寄せられました。「楽しかった!」「また参加したい」という多くの声もいただきました。ご参加いただいたみなさま、誠にありがとうございました。



## 令和8年度文化講座(3回)と企画・特別展の開催予定について

県立図書館では、令和8年度に3回の文化講座を開催します。

### 第1回〈9/26(土)〉

渡辺一弘氏(宮崎民俗学会)を講師に、「岩切章太郎の観光開発再考—ブリコラージュの視座から—」と題してご講演いただきます。今年、設立100年を迎えた「宮崎交通」(現宮交ホールディングス)の創設者である、岩切章太郎が行った観光開発を文化人類学の視点から再考し、「観光みやざき」の歴史を考察します。

### 第2回〈10/24(土)〉

中村豊氏(宮崎野生動物研究会)を講師に、「38年間の枇榔島調査で得られた事—主にカンムリウミスズメを中心に—」と題し、門川町の沖合に浮かぶ枇榔島に生息するカンムリウミスズメについて、長年現地を調査・研究されてきた、その生態と現況を紹介していただきます。

### 第3回〈11/21(土)〉

那賀教史氏(宮崎民俗学会会長)を講師に、「宮崎の神楽—神楽文化の心にふれて—」と題してご講演いただきます。現在、神楽のユネスコ無形文化遺産への登録申請が進められており、宮崎県内の神楽にも関心が高まっています。神楽を主催する人、支える人、それから鑑賞する人の思いに触れて、神楽文化の価値とその姿のお話を聞くことができる貴重な機会です。

また、本年度は特別展「日向俳壇と杉田文庫」(会期：11/7～12/6)を開催します。

なお、文化講座と企画・特別展の詳細は、当館ホームページ・チラシ等をご参照ください。

※今年度中に計画しておりました企画展「南国イメージの旅 宮崎観光の自叙伝」(仮)は諸般の事情により中止とし、別の企画展を準備中です。詳細につきましては、後日当館ホームページにてお知らせいたします。



《昨年度の文化講座の様子》

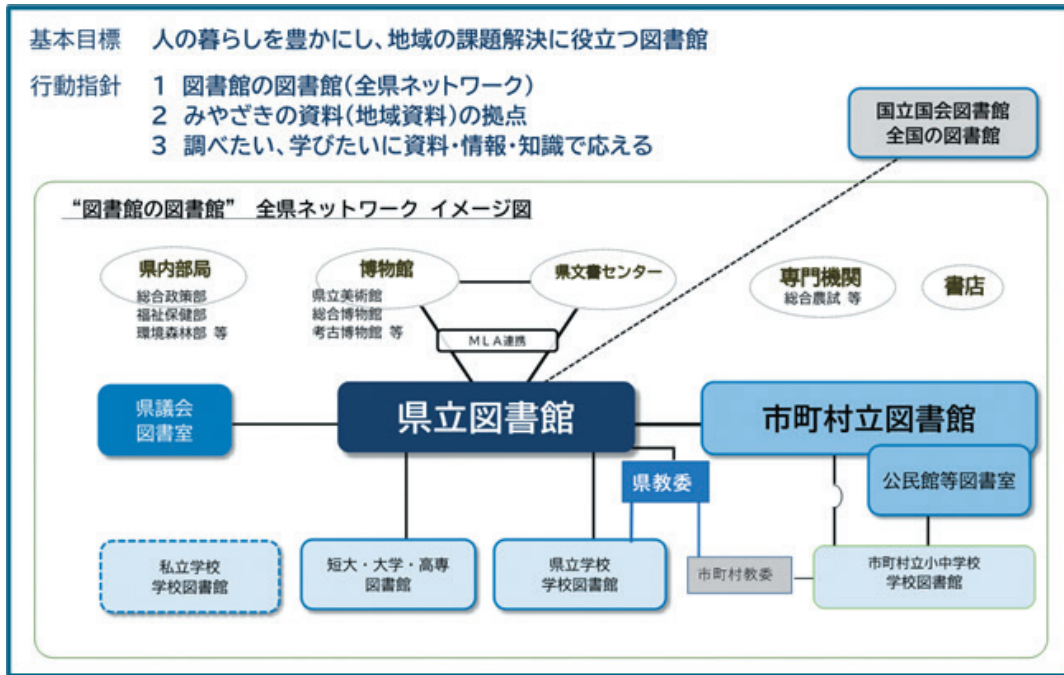


《昨年度の特別展の様子》



# 宮崎県立図書館 第4期アクションプラン

当館では、「宮崎県立図書館ビジョン」（平成29年策定、令和5年一部改定）に基づき、令和8年3月にアクションプランの改定を行い、第4期アクションプラン（令和8年度から令和9年度）を策定しました。基本目標を「人の暮らしを豊かにし、地域の課題解決に役立つ図書館」とし、下図の3つの行動指針のもと、「図書館の図書館」としての役割を果たすこと目指しています。今回のアクションプランでは、全県ネットワークの充実の一環として、令和8年度から開始する「ネットでお取り寄せサービス」の利用促進や、令和6年度からスタートした「ひなた電子図書館」の活用推進を図っています。併せて、乳幼児の保護者を対象とした読み聞かせ講座の開催や、障がい者サービスの充実のためにアクセシブルな資料の収集に努めるなどの取組を進めていきたいと考えています。



## 宮崎県立図書館長より

### 「Live!Library& どこでも図書館!」



宮崎県立図書館長 うみの よしり  
海野 由憲

このたび、第58代館長に就任しました。

県民のみなさまには、日頃から県立図書館をご利用いただき誠にありがとうございます。

おかげさまで、県立図書館は、1902（明治35）年5月の開館から125年目を迎え、施設としては4代目、1988（昭和63）年5月の開館から39年目を迎えました。

現在の県立図書館が開館して以来、実に延べ1,700万人以上の方にご利用いただき、延べ1,400万冊以上の図書を貸し出しております。

今年度より多くの県民のみなさまに利用していただくため、図書の充実に取り組むことはもちろんのこと、名作映画などを上映する図書館シアターやこどもの情操教育を支援する子ども映写会、緑陰コンサート、郷土について学ぶ文化講座など様々な企画を実施いたします。

また、2～3ページにご紹介しているとおり、県内どこでも、いつでも図書館サービスが利用できるよう、インターネットを活用した「おうちで利用者登録」や「ひなた電子図書館」、市町村立図書館等と連携した「ネットでお取り寄せサービス」なども実施しておりますので、是非、県立図書館ホームページにアクセスしてみてください。

県立図書館は、県民のみなさまに親しまれ、学びや課題解決に役立つ図書館を目指して取り組んでまいりますので、是非お気軽にご利用いただきますようお願いいたします。

# 【宮崎県立図書館からのお知らせ】



## ■ 県立図書館施設見学のご案内

当館では、希望される団体を対象に、館内の施設見学を実施しています。主な内容は、館内の見学（利用の仕方、施設の説明）、一般利用者が立ち入ることのできない書庫のバックヤードツアー、児童図書室での読み聞かせ等です。

見学を希望される場合は、下記連絡先までお問い合わせください。みなさまの見学をお待ちしております。

### 【見学概要】

- ・実施日：平日（休館日を除く）
- ・申込方法：見学希望日の1か月前までにお申し込みください。
- ・問い合わせ：総務・企画課 企画担当（0985-29-2911）
- ・受付時間：9時～17時／（休館日を除く）



## ■ 特別整理期間及び工事に伴う休館のお知らせ

県立図書館では、蔵書点検と施設の工事に伴い、以下の期間休館いたします。

みなさまにはご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力の程よろしく申し上げます。

**【休館期間①】 特別整理 令和8年9月14日(月)～9月17日(木) (4日間)**

**【休館期間②】 特別整理・館内工事 令和9年1月5日(火)～2月8日(月) (35日間)**

※工事の進捗により休館期間が変更になることがあります。



県立図書館の資料の購入には、宝くじの収益金の一部が使われています。  
宮崎県

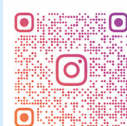
Live!  
Library  
Miyazaki Prefectural Library  
宮崎県立図書館



宮崎県立図書館公式 SNS



Facebook



Instagram

### ご利用案内

- 開館時間 ■一般閲覧室：9：00～19：00  
■児童図書室：9：00～17：00  
休館日 ■毎週月曜日（祝日の場合翌日）  
■年末年始（12月29日～1月4日）

### 編集・発行

- 宮崎県立図書館  
所在地 ■〒880-0031 宮崎市船塚3丁目210番地1  
TEL ■0985-29-2911（総務・企画課）  
FAX ■0985-29-2491（総務・企画課）  
HPアドレス ■<https://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>



ホームページ